

## 第5回

# 震災研究連絡会

弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう。



日時 2011年11月7日(月) 18:00~

場所 コラボ弘大1F コミュニティスペース

司会 上平 好弘 (かみだい・よしひろ) 弘前大学地域共同研究センター 産学官連携コーディネーター

18:00~18:45 浅利 靖 (あさり・やすし) 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター長

「福島第一原子力発電所事故への医療対応」

18:45~19:30 北原 啓司 (きたはら・けいじ) 弘前大学教育学部教授・副学部長

「被災地支援から復興計画支援へー国はいま何をしようとしているのかー」

19:30~20:00 意見・情報交換

※震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できます。

※当日2つの報告の後に、震災に関する情報・意見交換を行います。情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

※連絡会終了後、有志の懇親会を予定しています。

同日、津軽学公開講座「震災を生きる「津軽と災害」」が開催されます!! ぜひ、ご来場ください!!

11月7日(月) 14時~17時 会場/弘前大学人文学部 4F 多目的ホール

### 【連絡先】

弘前大学大学院地域社会研究科

檜楨貢研究室(教員室2)

Tel 0172-39-3938 (内線 3938)

Mail himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp



## 弘大 コラボ弘大 までの交通案内



### コラボ弘大総合案内 [1F]

〒036-8561 弘前市文京町3

TEL 0172-39-3898

10月30日に行われた第4回震災研究連絡会では、興味をひく報告がなされた。1つは「津波被害と埋蔵文化財」。盛岡市在勤在住の丸山浩治さん。この方は文化財の発掘調査が専門。被災地の多くは埋蔵文化の調査の手薄な地域だった。とくに、これまで利用されていない原野などは調査の手が及んでいない。そこに復旧復興の仮置き場として使われる動きが広がっている。住民の安全と安心が優先させる対応。この行為は埋蔵文化の保護保全に禍根をのこさないか。そんな問題提起だった。

もう1つは「震災とメディア(続報)」。青森市在勤在住のジャーナリスト櫛引素夫さん。メディアの現場にいて、切歯扼腕。新聞やテレビの意義や役割を問う。被災しても手作り新聞を発行した岩手日報の逸話等も語られた。ちなみに、2人とも弘前大学大学院地域社会研究会をプラットフォームに活躍している。

この連絡会は4回目にして、場所も内容も司会も充実。この時には人文学部の教員と職員が飛び込みでの参加もあった。コラボ弘大1階のコミュニティスペースでの連絡会は新たな利用方法の提案にもなっている。(H)

第6回連絡会は12月13日(火)、同じくコラボ弘大1Fのコミュニティ・スペースにて開催予定。